

町行政の現状と展望

皆さんとともに

輝く「へぐり」の未来を創るために

平群駅前広場のイルミネーション



令和5年1月



奈良県平群町

デジタル版
(カラー)はこちら



寒さの中にも清々しさが感じられるこの頃ですが、皆さまにおかれましては、お変わりなくお過ごしでしょうか。

先の町長選挙におきまして皆さまのご支援を賜り、引き続き二期目を務めさせていただく事となりました。改めて重責を痛感するとともに、今後の町政運営に向け、より一層身の引き締まる思いです。

例年開催しております住民説明会におきまして、町民の皆さまと直接お話をし、ご意見を拝聴する場を持たせていただく予定でしたが、依然猛威をふるう新型コロナウイルスの感染防止の観点より、本年度も資料の配布のみとさせていただきます。ご理解のほどよろしくお願いたします。

今年度においても、新型コロナウイルスによる影響から皆さまの生活を守るため、様々な対応に奔走した1年でございました。具体的には、生活応援クーポンの配布や、水道基本料金の無償化(3ヶ月)、子どもたちの給食費の無償化(8ヶ月)の実施、子育て世帯への臨時特別給付など、迅速に支援策を講じてまいりました。

こうしたコロナ対策の一方で、本町の課題の一つである人口減少に歯止めをかけるべく、子育てしやすいまちづくりについても積極的に推進してまいりました。子育て世代への支援として、こども園における紙おむつの持ち帰りを不要とし、保護者負担の軽減を図り、保育業務支援システム「コドモン」の導入により保護者の利便性向上を図りました。学校ICT教育においても、オンライン学習対応の「e-ライブラリ」を導入しました。今後も引き続き教育環境を整備していくことで、子育てしたくなるまちづくりを進めてまいります。

また、今年度より新しい取組みとして、本町の明るいまちづくりを目的とした、職員によるプロジェクトチームを発足いたしました。職員一丸となり、町民の皆さまに「今後も住み続けたい」と思っているよう取組んでおります。

現在、本町の財政状況は依然厳しく、奈良県より「重症警報」が発令されております。昨年度より緊急財政健全化計画を真摯に取組んだ結果、将来負担比率、経常収支比率については大幅に改善することができました。また、地方費残高につきましても着実に減額できております。引き続き財政の健全化を目指し、奈良県とも連携を図りながら、将来の平群町に繋がるよう、必死に取組んでまいります。

様々な課題に対応していくためには、町民の皆さまに平群町のまちづくりにご参加いただき、行政との協働によるまちづくりを推進していくことが大切だと考えております。今後も、輝く「へぐり」の未来を創り、みんなの笑顔あふれるまちづくりを目指し、皆さまと共に邁進してまいります。これまで同様、町政に対しご理解とご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

令和5年1月
平群町長 西脇 洋貴



はじめに

町長あいさつ

1.暮らし

- 1.新型コロナ・物価高騰の支援策
- 2.地域コミュニティ
- 3.住宅

2.環境

- 1.環境保全
- 2.循環型社会
- 3.環境衛生

3.産業

- 1.農業
- 2.観光

4.教育

- 1.学校教育・子育て支援
- 2.文化財

5.安全安心

- 1.防災
- 2.公共交通
- 3.高齢者・障がい者・地域福祉等

6.行政経営

- 1.行財政運営
- 2.情報発信

1.暮らし

1. 新型コロナ・物価高騰の支援策

【ア】令和4年度における町独自の主な支援事業

	主な支援策	概要	備考
1	生活応援 クーポンの配布	物価高騰支援として、町内で使用できるクーポン券を配布(9月発送済)	4千円分
2	水道基本料金の 無償化	生活支援として、基本料金(3ヶ月分)を無償化	7月～9月請求分
3	園・学校給食費 の無償化	子育て世帯への生活支援として、給食費(8ヶ月分)を無償化	対象：町内の小中学校 ・こども園・幼稚園
4	子育て世帯への 臨時特別給付金	国の「臨時特別給付金」について所得制限による対象外世帯に対しても給付を実施(受付終了)	10万円/児童1人
5	出産祝い金	子育て世帯への生活支援として、令和4年度に生まれる子どもを対象に、出産祝い金を支給	10万円/新生児1人
6	農業者に対する 原油高騰支援	原油価格高騰等により経営を圧迫されている施設園芸農家に対し、燃料費の一部を支援	1経営体につき 上限10万円
7	中小企業者等事 業継続支援金	原油価格高騰等により事業活動の継続に影響が出ている事業者に対し、事業継続に幅広く活用できる支援金を支給	個人事業主 5万円 法人 10万円
8	要保護・準要 保護・特別支援 教育に対する 生活支援金	生活支援として、小・中学校の児童生徒を養育する世帯のうち要保護・準要保護・特別支援教育に対し支給	1万円/児童・生徒1人

【イ】新型コロナワクチン接種の推進

ワクチンの集団接種を、昨年に引き続きプリズムめぐりにおいて実施しました。

令和4年10月からはオミクロン株対応ワクチンがスタート。対象者へは随時通知しています。

また、町内におけるワクチン接種を円滑に行うため、ワクチン接種に必要となる接種経費の一部を、医療機関に助成しています。



1.暮らし

2. 地域コミュニティ

【ア】 総合文化センター ～文化・情報発信・賑わい創出～

会議室・研修室▶コロナ禍で十分な活用ができない状況が続いている中、感染防止対策を講じながらさまざまな教室やサークル活動が実施され、文化交流の拠点となっています。

展示スペース ▶町内で活躍されている団体・グループ・個人の作品展示や活動紹介などを順次行っています。奈良県在住の妖怪書家 逢香さん制作の武将印の原画展では、町外からも多くの方が来られました。

くまがしホール▶講演会やピアノの発表会など、多くの団体が使用されています。

どんぐり広場 ▶住民参加によるイベント(マルシェ等)が開催され、賑わいを創出しています。

図書館 ▶利用者の知的支援の拠点として、まちの案内コーナーも併設し、地域の情報収集発信機能も備えています。子ども向けイベント等も実施しています。



総合文化センター外観(入口右：図書館)



くまがしホール(文化祭)



どんぐり広場(マルシェ)

【イ】 近隣市町との施設相互利用

■ 生駒市との相互利用

スポーツ施設▶生駒市井出山スポーツ施設、むかいやま公園スポーツ施設が利用できます。

総合文化センター▶生駒市の方も町内料金で利用できます。

図書館▶生駒市図書館が利用できます。(借りた本は同市のどの図書館でも返却可能)

し尿処理施設▶し尿を生駒市のエコパーク21で処理しています。

火葬場(斎場)▶野菊の里斎場において、生駒市民の火葬の一部を町内料金で利用できます。

■ 三郷町との相互利用(スポーツ施設)

三郷町ウォーターパーク▶コロナ禍により、屋外プールのみ利用可能となりました。

(今年度の平群町民の利用者総数：1,382人)

総合スポーツセンター・中央公園グラウンド▶町内料金で三郷町の方も利用できます。



野菊の里斎場



総合スポーツセンター(グラウンド)



中央公園(グラウンド)

【ウ】 平群駅前広場の整備

住民の皆さんの憩いの場と賑わい創出のため、ふるさと納税で頂いたご寄附を活用して、大型ベンチ(2箇所)、植栽プランター(各所)、イルミネーションを設置し平群駅の西側広場の整備を行いました。



大型ベンチ



大型ベンチ

■ イルミネーション点灯式

12月4日には、賑わい創出の一貫として平群町商工会との協働で「イルミネーション点灯式」を行いました。(表紙写真)

【住民の方からの声】

イルミネーション!! 電車から降りて目に入り、とても嬉しかったです😊
バスを待つ間ホッコリした気分になりました。ありがとうございます。

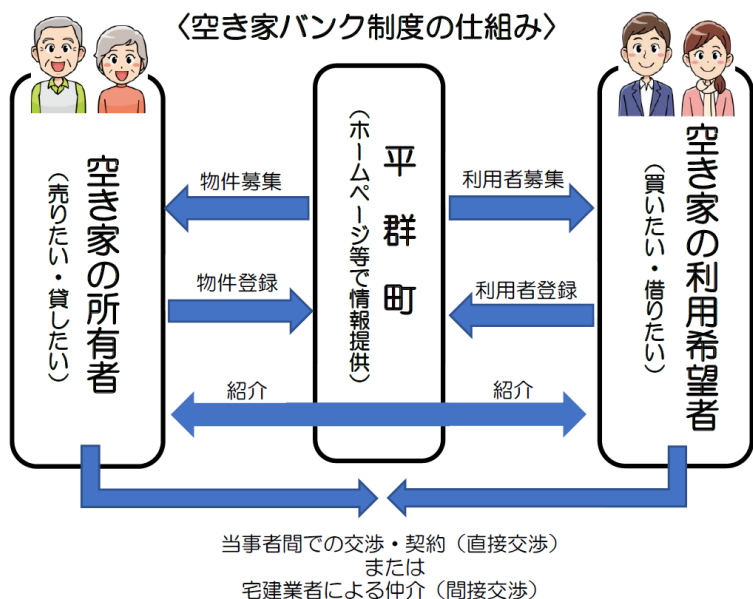
■ 「めぐり楽市(たのし)」開催

当日、どんぐり広場では、商工会主催で開催され、多くの方々が賑わいました。



3. 住宅

【ア】 空き家バンク制度



空き家バンク制度とは、自治体が主体となって運営し、空き家の賃貸・売却を希望する所有者から提供された情報を集約し、空き家をこれから利用・活用したいとお考えの方に紹介する制度です。

令和4年11月末現在で、登録されている空き家物件は17件、利用希望者は95人となっており、令和3年は7件が成約しました。

登録方法等、詳細はホームページをご覧ください。



2.環境

1. 環境保全

【ア】「山のぼっけ」花いっぱいサポータークラブ制度

公園・道路等の緑化や環境美化にボランティアとして社会に貢献している団体に、苗木や資材等を支援する制度です。功績が認められた6団体が、昨年5月に「奈良県都市緑化功労者知事表彰」を受けられました。今年度新たに3団体が加入され、住民協働のまちづくりをより一層推進していきます。

表彰を受けた団体	活動場所
菊美台クラブ	東山駅前ロータリー
櫛原地域資源保全会	千光寺・役行者と修験の道
チーム・マザーママ	平群北小学校前
花つばき	椿台(若葉大橋北側)
虹グループ	若葉台(若葉大橋南側)
ウエストサイドガーデン	竜田川駅西側



新規登録団体



竜田川・まぐわ淵愛好会



竜田川まほろば遊歩道推進の会



ふれあい初香台園芸部

2. 循環型社会

【ア】リサイクルの推進

■リサイクルステーション(北部・南部)の新設

近年、町内における可燃ごみの処理量が増加傾向にあることを鑑み、ごみ減量対策の一環として、ダンボール・新聞紙・雑がみ等のリサイクルステーションを新たに設置します。

北部地区は令和4年10月より開設済み。南部地区については、令和5年1月開設予定であり、役場東駐車場にある中部地区と計3ヶ所で運用し、紙資源のリサイクルに取り組めます。



中部リサイクルステーション(役場東駐車場内)



北部リサイクルステーション(音の花温泉付近)



南部リサイクルステーション(椿井交差点北西)

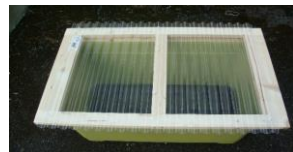
【イ】生ごみ削減への取組み

■キエーロ(土の力で分解する生ごみ処理機)

キエーロの簡易版「プランターDEキエーロ」を作成し、今年度は環境保全推進員(エコリーダー)さんにご協力頂き、生ごみ削減への実証実験を行っています。今後、住民の皆さんにもご協力いただけるよう取組んでいきます。



▲土に生ごみを埋めると、もともといるバクテリアが生ごみを分解してくれます。



▲庭でもベランダでも設置可能な簡易タイプです。

3. 環境衛生

【ア】ごみ減量対策 ～みなさんのご協力が不可欠です！～

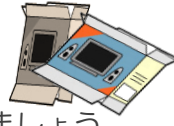
■なんと25mプール27杯分！(可燃ごみ年間排出量)

各家庭から排出されるごみの量は1日に約14t。年間排出量はおよそ5,000t。これは、一般的な25mプールおよそ27杯分にもなります。



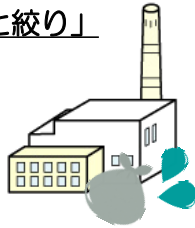
■ごみの半分は「紙・布類」

- ・新聞雑誌はもちろん「お菓子やアイスの空き箱」等も、潰してから町内リサイクルステーションや集団回収に出しましょう。
- ・状態が綺麗な「服」「カバン」「マンガ」等はリサイクルショップで買い取ってもらえる場合があります。



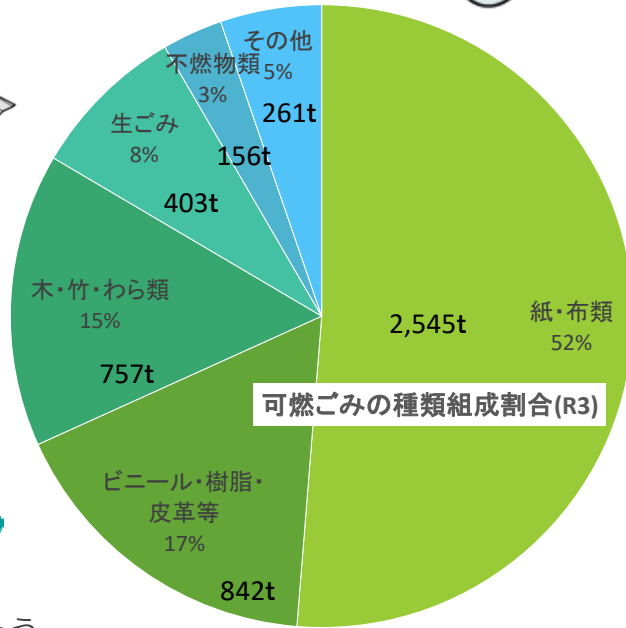
■生ごみは「ポイする前にギュッとひと絞り」

- ・お茶パックや生ごみ等を水切りすると、重量を「10%」も減らせます。
- ・水分が少ないごみは、燃やしやすいため、燃料を大幅に節約できます。



■捨てないで！野菜や果物「皮にも栄養」

- ・残留農薬の不安がないものは、皮も食べてみましょう。むく手間も省けて「時短」効果も♪
- ・「皮ごと食べられる果物」や「〇〇の皮 レシピ」等と検索して、おいしい食べ方を発見してみましょう！



ごみ袋に入れる前のちょっとした「ひと手間」がごみの削減につながります。
一人ひとりの「意識」で地球にやさしい未来の実現を！

【イ】ごみ削減の「3R」 & 町が行ってきた具体的取組み

＼元から減らす／

まずは **リデュース**(減量)

- ・買い物にはマイバック
- ・過剰包装は断る
- ・水分持参はマイボトル
- ・使い捨て商品は極力買わない



＼繰り返し使う／

次は **リユース**(再利用)

- ・ものは修理して長く使う
- ・再利用できる容器に入った商品の購入
- ・不用品は必要な人に譲る

＼資源化して再利用／

そして **リサイクル**(再資源)

- ・混ぜればゴミ、分ければ資源
- ・地域の集団回収への協力
- ・再生資源を使った商品の購入

生ごみ処理機の購入補助

剪定枝の粉碎機の無償貸出



[平群町食品ロス削減推進計画]を策定(令和4年4月)

フードドライブへの参加

食器類、子ども服、子ども用品の窓口引き取り



ごみ減量啓発イベント
※今年度は「もったいない市」実施

廃食用油の回収



小型家電回収ボックスの設置(町内9ヶ所)

ダンボール・新聞等を回収するリサイクルステーション増設

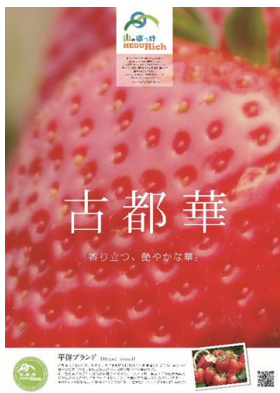
3.産業

1. 農業

【ア】 平群ブランド認定

自然・歴史・農産物・暮らしなど平群らしさを育み発信し続けることで、すべての人にとって“平群”を魅力的なまちにすることを旨とするものとして“平群ブランド”を制定。現在、農産物8名2団体、加工品5品目、文化財等地域資源2ヶ所を認定しています。

令和4年度は、平群町&老舗和菓子舗「たねや」のコラボ企画による“古都華ロール”と、平群ブランド認定生産者の古都華を使った“いちご大福 古都華”を、信貴山のイベントで限定販売しました。



【イ】 基幹産業のPR

特産品を広く知ってもらうため、ふるさと納税返礼品としてラインナップしたり、道の駅の各種イベントによる町外・県外へも向けた発信を行い、平群町の魅力を全国へPRしています。

総合文化センターでは、ボランティアの方による作業のもと、たくさんの美しいバラが、入口付近を彩っています。

また、役場入口に手水鉢を置き、季節によって小菊やバラを浮かべ、来庁された方へおもてなしの気持ちを表しています。



【ウ】 上庄梨本地区特定農業振興ゾーンの設定

8月に県庁知事室にて、県、町、上庄・梨本営農くらの3者で、特定農業振興ゾーンに関する協定を締結しました。

今後、このエリアでは町の特産品であるイチゴ(古都華等)の生産拡大を図り、混在している農地を整理し、まとまりのある産地づくりを目指すとともに、小菊栽培も増えていることから、繁忙期が異なるイチゴとの産地間連携を進め、労働力の確保に取り組んでいきます。



2. 観光

【ア】道の駅大和路へぐり くまがしステーション

国・県が押し進める「道の駅を地方創生・観光の加速拠点に、そして世界ブランドに！」に呼応し、ブランド力の高い平群の既存の地域資源を活用して、未来へ継承・発展を目指し、官民連携・協働により、次のとおり実施し、県内外から注目される取組みになりました。

さまざまな特色ある取組みの結果、あらゆる世代の利用者の交流と賑わいの場になっています。

■古都華新商品開発等による相乗効果で「平群の古都華」を中心に売り上げ躍進！

実績成果▶ 古都華：1.93倍 イチゴ全体：2.35倍（令和2年 対 令和4年の比較）

第1回「古都華新商品開発発表会」を実施	令和4年1月14日
新商品17品目発表。令和3年度から古都華商品開発プロジェクトとして取組み、多様なマスクミに取り上げられました。	
「平群の古都華新商品販売マーケティング会」を実施(東京「奈良まほろば館」)	同年2月13日～3月末
平群ブランド古都華の魅力と価値を首都圏に強く印象づけました。	



新商品発表会



開発された新商品

古都華かき氷



古都華ソフト



古都華ジャム



古都華パフェ

■「毘沙門天像」の展示と

川上産吉野杉300年生の看板「道の駅へぐり」を設置

令和4年寅年、および町制施行50周年記念事業として、信貴山の観光PRのため、「毘沙門天像」を1年間展示。信貴山朝護孫子寺管長、一山僧侶による繁栄と安全祈願祈禱を行いました。

また、道の駅玄関には、川上産吉野杉300年生の看板「道の駅へぐり」を設置しました。(令和4年1月27日実施)



ご祈禱の様子

■道の駅大和路へぐり四季フェスタの開催

幅広い層の集客と賑わいを創出する「道の駅大和路へぐり未来プロジェクト」を推進し、四季フェスタを実施しました。

秋のフェスタでは、子どもから大人まで自由に弾く事ができるストリートピアノも設置され、演奏を楽しむ姿が見られました。



館内入口に設置された看板

2022冬「古都華フェア～古都華の聖地:平群～」	令和4年1月～4月
2022春「野菜もりもり寅フェスタ」	4月29日～5月29日
2022夏「へぐり狸(さと)び体験フェスタ」	6月21日～9月23日
2022秋「平群ブランド収穫&フラワーフェスタ」	10月1日～11月30日



「みん芸」ストリートピアノ

4.教育

1. 学校教育・子育て支援

【ア】保護者の負担を軽減し 利便性を向上します

■こども園での「紙おむつ持ち帰り」不要に！

各こども園に、使用済み紙おむつを密閉パックにする機械を導入しました。これからも保護者の負担を軽減する取組みを進めます。

■保育ICTシステム「CoDOMON(コドモン)」導入

スマホからアプリで手軽に「欠席連絡」や「お知らせ一斉配信」など、保護者や保育教諭の負担軽減および利便性の向上を図ります。



【イ】学校 | CT教育環境の推進

■オンライン学習システム「e-ライブラリ」

令和4年7月より、児童・生徒の専用タブレットから、オンラインで学習できる「e-ライブラリ」システムを導入しました。

学校や家庭に居ながら、自分たちの興味や関心に応じて、自主的に学習したり、先生からの指示によって、宿題や課題ができるようになりました。

また、子どもたちの学びの様子が「履歴」として整理され、AIが自動的に学習履歴を分析。その結果を基に示される課題が変化するため、苦手なところを繰返し復習し、得意なところを自然に伸ばす事ができるようになります。今後も子どもたちの学びをICTを活用して支援していきます。



【ウ】快適で安全な学校生活のために

■施設整備の状況

児童・生徒のより良い教育環境整備のため、次の整備を行いました。

- ・北小学校 ▶ 理科室に空調設備を新設
- ・南小学校 ▶ 視聴覚室に空調設備を新設
- ・中学校 ▶ 調理室に空調設備を新設
給食用リフトのリニューアル改修

■交通安全対策

- ・毎月1日・15日および春・秋の交通安全週間の朝の通学時に、立哨による通学指導を行っています。
- ・通学路等に設置した「とび出し君」(人形型看板)のメンテナンスを、交通安全協会平群町分会が行っています。
- ・西和警察署から指導員を招いて、各こども園・小学校で交通安全教室を開催しています。



2. 文化財

【ア】文化財資源の保全

■古文書や学齢簿の整理

文化財の保全に向けた取組みとして、令和4年度は福貴の旧家・垣内で所蔵されている古文書や、教育委員会が保管する戦前の学齢簿等の整理を実施しています。

一部作業には、専門課程を履修する大学院生のほか、公民館教室「文化財調査サポーター養成講座」受講生の協力を得ています。

また、文化財の価値の発信・共有(=活用)に向けた取組みとして、町民講座や企画展示を通じ、過去に実施した文化財調査成果の社会への還元を図りました。



学齢簿の整理

■「平群史蹟を守る会」の活動

昭和45年に烏土塚古墳の保存運動を契機として発足した平群史蹟を守る会は、行政とも連携しながら、夏季公開講演会や古墳の草刈り整備等、平群の史蹟の普及啓発や調査保存に向けた幅広い活動に取り組んでいます。



古墳の除草作業(剣上塚古墳)

■「平群町観光ボランティアガイドの会」の活動

道の駅大和路へぐりくまがしステーションに常駐(土日祝10時～15時)しており、古墳などの平群町の見どころを、心を込めて案内する活動をしています。

毎年恒例となっている、千光寺の戸開式(とあけしき)・戸閉式(とじめしき)や、藤田家住宅(重要文化財)の公開などに併せた案内は好評です。令和4年度は観光産業課と共催し、椿井城フォーカス企画として“椿井城の絵画募集”と“椿井城跡ウォーク”を実施しました。



千光寺「戸閉式」

■「信貴山城址保全研究会」の活動

発足以来、登山道から松永屋敷跡を含めた城址一帯の散策道を整備し、ボランティアスタッフが毎月清掃活動を実施しています。また、歴史家の先生などを招いて、講演会や現地見学会などのイベントも行っています。

平群町では、「信貴山城址保全研究会」をふるさと納税の指定団体とすることで資金面や、城址の整備に必要な許認可面でも活動をバックアップしています。



信貴山「松永屋敷跡」

【イ】文化財資源の活用

■「武将印」の企画制作

昨今のお城ブームを受けて、信貴山城址・椿井城跡を歴史ファンにPRするため、武将印「松永久秀」「嶋左近」を企画制作。それぞれ「信貴山観光センター」と「道の駅大和路へぐりくまがしステーション」で販売しています。(武将印・・・「御朱印」「御城印」の武将版)



5.安全安心

1. 防災

【ア】災害に強いまちづくりと地域の防災力の推進

■情報発信等に関する協定

災害時に必要な情報を迅速に提供しつつ行政機能の低下を防ぐため、ヤフー株式会社と協定を締結し防災力の強化を図りました。

■防災備蓄品の確保と防災協定の推進

水や食料・衛生品などの防災備蓄品を町指定避難所など12ヶ所の施設で分散備蓄し、災害時に迅速な対応ができるよう努めています。また、物資の供給や施設の応急復旧のため民間企業30社および行政機関8団体と防災協定を結び、防災力の強化に努めています。

■自主防災組織(結成30団体 組織率89.3%)

災害発生時に大切な「命」を守り、安心して暮らせるまちづくりを推進するため、「共助」の要である地域自主防災組織の結成を支援しています。また、防災研修会として出前講座を開催しています。

■地域防災計画 や ペットに関するマニュアルの作成

風水害や地震を想定した地域防災計画と防災ハザードマップの周知徹底を行っています。令和4年8月には「避難所におけるペット対応マニュアル」「災害時のペット飼育と同行避難マニュアル」を作成しました。



2. 公共交通

【イ】持続可能で環境にもやさしい「公共交通主体のまちづくり」

■コミュニティバス事業

コミュニティバスは、①住民の健康維持 ②通学支援 ③観光支援(地域活性化)等を目的に、平成17年より「あいバス」の愛称でスタート。現在2ルート(西山間・南北循環)で運行しています。

令和4年11月には、地域住民への外出支援を目的に無料乗車(5日間)を実施しました。



■デマンド型乗合タクシー(高齢者の移動支援)

高齢者がいつまでも元気に生きがいをもって生活をする事ができる交通環境整備を目指し新たな移動手段として令和3年10月よりデマンド型交通(乗合タクシー)を運行しています。

※初めて利用される方は、事前登録が必要です。

事前登録専用 ☎ 0745-44-3343

対象▶ 町内在住65歳以上で各条件に該当する方。
条件等詳細はホームページをご覧ください。



■列車ツアーへ無料ご招待

住民の方の公共交通の利用促進を目的に、近畿日本鉄道株式会社が企画した住民限定の列車ツアーにご招待しています。

計3回のツアーを企画し、11月の「鳥羽コース」には30名の方々をご招待しました。今後、賢島(2月)と鵜方(3月)を予定しています。



3.高齢者・障がい者・地域福祉等

【ア】みんながいきいきと暮らせる便利なまちづくり

■高齢者向けスマホ講習会

高齢者の方がスマートフォンを活用し、「登録制メールサービス」や「防災アプリ」により災害時の情報を確実に入手していただけるよう、スマホの基本的な使い方から便利な使い方までを習得いただける少人数制の講演会を開催しました。

・開催実績：6回(8月～10月) 合計37名参加



■「平群町手話言語条例」の制定

聴覚障害は「見えない障害」と言われるため、「どんな配慮を必要としているか」常に想像力が問われます。障害は誰にでも生じ得るものであると捉え、この条例制定をきっかけに、だれもが暮らしやすい地域社会を目指します。



■マイナンバーカード作成サポート

- ・「マイナポイント第2弾キャンペーン」の申請期限は2月末までです(12月末までにマイナンバーカード申請された方が対象)。
- ・役場窓口では顔写真撮影(無料)、申請書類作成サポートを行っています。
- ・マイナンバーカードは身分証明書として使えます。また、コンビニで住民票、印鑑証明、住民税の課税・非課税証明書が取得できます(6:30～23:00)。ぜひ申請してください。
(令和4年11月末時点：平群町交付率54%)



■パソコン無料貸出し(2月末まで)

パソコンやスマホを使う機会が少ない等の情報格差(デジタルデバイド)解消のための実証事業として、自由に使えるパソコンを施設に設置・貸出を行っています。

総合文化センターとプリズムへぐりに設置するパソコン(各1台・持出不可)を町内在住の個人・団体に自由に使って頂けます(1時間まで)。また町在住の個人・団体にパソコンを貸出します(7日間まで)。利用方法は町ホームページかお電話ください。



【イ】下水道事業の現状と計画

令和4年3月31日現在▶

- ・総人口：18,561人
- ・供用開始人口：10,682人 (普及率 57.6%)
- ・接続済み人口：10,034人 (水洗化率 93.9%)

下水道事業認可区域：469.2 ha (平成30年度～令和6年度)

令和4年度事業実施区域

令和3年度末までの供用開始区域

緑ヶ丘
(工事・調査業務)

椿台、若葉台、ローズタウン若葉台、菊美台、月見台、光ヶ丘、竜田川ネオポリス、緑ヶ丘の一部、三里(東御陵台)、吉新の一部、西宮の一部、春日丘、日立団地、北信貴ヶ丘の一部、椿井の一部、竜田川団地、上庄(工場誘致地区)、三里・平等寺(商業誘致地区)

7. 行政経営

1. 行財政運営(奈良県の「重症警報」発令中)

【ア】平群町の財政状況

令和3年度決算 全国ワースト順位

公債費の負担比率が大きい市町村
(実質公債費比率)

ワースト 順位	市町村名	実質公債費 比率
1	北海道夕張市	68.3
2	高知県土佐清水市	17.4
3	京都府与謝野町	17.2
⋮	⋮	
7	平群町	16.0
全国平均		5.5
奈良県平均		6.8

(奈良県内順位 ワースト1位)

地方債借入残高が多い市町村
(将来負担比率)

ワースト 順位	市町村名	実質公債費 比率
1	北海道夕張市	274.0
2	山形県長井市	225.0
3	平群町	183.3
4	香川県多度津町	182.4
5	京都府宮津市	178.2
全国平均		15.4
奈良県平均		38.1

(奈良県内順位 ワースト1位)

【イ】これまでの決算概要(普通会計)

(単位:千円、%)

区 分	H29	H30	R1	R2	R3
主なもの					
歳入総額	7,045,301	8,948,325	8,468,850	9,359,522	8,205,132
町税	2,011,874	1,975,807	1,963,328	1,997,794	1,942,978
地方交付税	2,266,183	2,295,771	2,375,269	2,489,938	2,870,317
使用料・手数料	188,751	203,562	185,139	181,139	194,929
国・県支出金	1,010,569	1,409,279	1,352,150	3,357,951	1,762,173
地方債	722,402	2,002,624	1,640,409	508,937	439,409
うち臨時財政対策債	278,802	272,224	216,709	212,731	284,009
主なもの					
歳出総額	6,821,619	8,846,243	8,285,728	9,101,987	7,743,294
人件費	1,456,507	1,452,634	1,474,995	1,783,468	1,818,836
物件費	1,397,599	1,337,683	1,373,560	1,276,568	1,243,350
補助費	490,301	612,041	667,327	2,556,916	614,769
繰出金	9,122,290	790,192	824,366	838,544	857,996
公債費	1,039,685	106,238	1,094,144	1,096,179	1,394,705
扶助費	785,882	759,451	790,890	854,276	1,254,577
普通建設事業費	706,943	2,737,606	1,928,510	665,718	384,875
歳入歳出差引	223,682	102,082	183,122	257,535	461,838
①実質収支	194,652	74,707	170,433	216,139	412,355
②実質単年度収支	△ 20,913	△ 143,718	145,730	45,706	597,647
③経常収支比率	96.1	98.9	99.9	95.7	89.9
④実質公債費比率	14.2	15.6	16.1	16.7	16.0
⑤将来負担比率	216.1	225.7	241.3	222.8	183.3
地方債(借金)残高	13,552,117	14,588,362	15,223,538	14,715,543	13,841,974
基金(積立金)現在高	315,497	289,878	360,566	385,237	754,502
うち財政調整基金現在高	116,967	93,197	143,198	143,198	465,197

【①実質収支】は黒字を維持しています。

しかしながら、【③経常収支比率】【④実質公債費比率】【⑤将来負担比率】などの財政指標が示すとおり、全国平均を大きく上回っており、非常に硬直した厳しい財政状況にあります。

【ウ】緊急財政健全化計画の推進(令和3～7年度)

奈良県から発令されている「財政の重症警報」に対応するため「平群町緊急財政健全化計画」を策定し、将来負担の軽減と安定した財政基盤の構築を図り、財政の健全化に取り組んでいます。

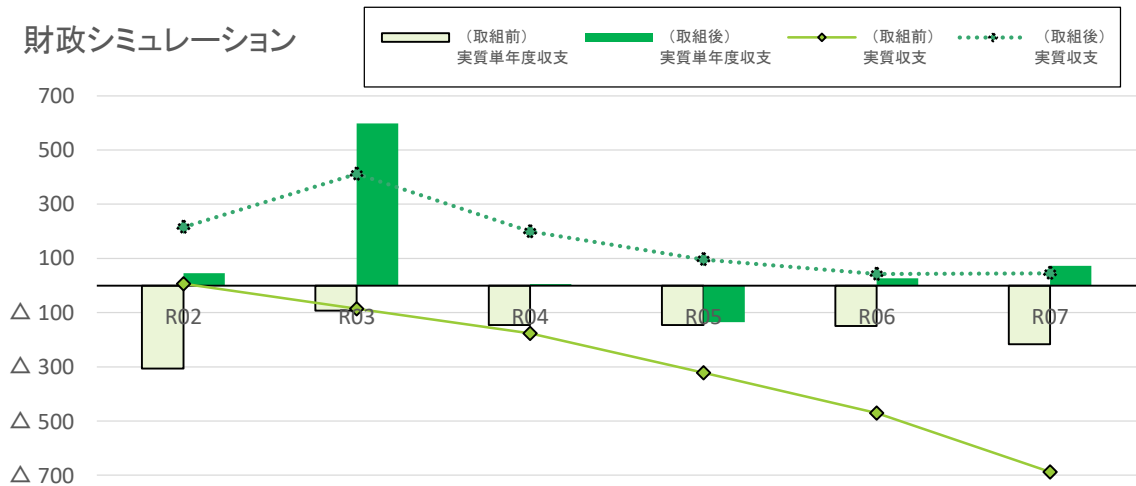
財政健全化の方策(主なもの)		
歳出	経常経費の適正化	・ 臨時的な職員給与の抑制(職員給与カット) ・ 町債の繰上償還・借り換え ・ 決算剰余金の1/2以上を財政調整基金へ積立 等
	投資的経費	・ 普通建設事業の抑制
	資産運営	・ 公共施設の閉鎖検討、指定管理委託料の削減 等
	会計事務	・ 随意契約の見直しの徹底、団体補助金等の見直し 等
歳入	税徴収	・ 償却資産の適正課税、徴収専門担当の配置による徴収強化
	資産運用	・ 町有財産(遊休資産)の売却 等
	税源涵養等	・ ふるさと納税の増収、体育施設等利用料の見直し 等

その成果もあり、令和3年度は実質収支が約412百万円の黒字となり、取組み前△86百万円としていた見込から大きく改善されました。また、財政調整基金の積立てや町債の繰上償還により、将来負担比率も改善されています。

財政健全化の取組みにより令和4年度以降も収支の改善が見込まれます。しかしながら、財政状況は奈良県水準・全国水準で見ると依然として最低レベルにあります。

「財政の重症警報」発令中であり、財政健全化については喫緊の課題であり、早期に健全財政を確実なものとするため、奈良県と連携を図りながら進めてまいります。

財政シミュレーション



(単位：百万円)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7
取組前▶実質収支	7	△86	△176	△322	△471	△688
取組後▶実質収支	215	412	199	96	42	45
取組前▶実質単年度収支	△306	△93	△90	△146	△149	△217
取組後▶実質単年度収支	46	598	5	△135	26	73

7.行政経営

2. 情報発信

【ア】「Love! Heguri 未来」 発足

令和4年8月に、子育て世帯の定住促進や町のイメージアップを目的に、職員によるプロジェクトチーム「Love! Heguri 未来」を発足しました。

平群町を好きになって、愛着をもってもらいたいとの思いから「Love! Heguri 未来」と命名しました。

みなさんに、平群町に住みたい、住み続けたいと思っていただける未来輝くまちづくりを目指します！



【イ】 広報・観光PR

■検索しやすい「ホームページ」を目指して

各まとめページ(コロナ情報、定住促進情報、補助金一覧、ボランティア団体一覧)を作成する等見やすく検索しやすいホームページを目指し、随時更新しています。

■親しみのある「広報紙」作り

- ・デジタル版も整備。公式LINEから「カラー」で見られます。
- ・「山のぼっけコラム」では、平群町の歴史資源や産業を、観光系の視点から専門的に掘り下げ、全12回にわたって紹介しました。
- ・特集記事を企画。いきいきと文化教室等を楽しむ様子を取材したり子どもの笑顔とともに「平群の美味しい給食」をPRしました。
- ・「題字募集」や「椿井城絵画募集」を企画。力作の数々を紹介しました。



■「SNS」での発信強化

LINEでは主に防災・防犯・コロナ情報を発信。フェイスブック・ツイッターでは町の話題、道の駅のイベント情報に加え、「#平群の美味しい給食」として給食を紹介(月2回)。観光Instagramでは観光の魅力を写真・動画で発信中です。ぜひご登録をお願いします。



LINE



フェイスブック



ツイッター



観光Instagram

■信貴山「寅ポスト」の企画制作

日本郵便(株)との連携協定に基づく事業の取組みのひとつとして企画。12年に一度の「寅年」を盛り上げようと、信貴山朝護孫子寺の境内に制作された「寅ポスト」は、Instagramでも100件以上発信されました。また、寅ポスト限定・寅年限定で、投函物には「寅の消印」が押印されました。



ご意見をお持ちの方は、下記メールアドレスまでご連絡ください。
お寄せいただいたご意見に対して個別に回答はしませんが、今後の行政運営の参考とさせていただきます。